

## 短編映像作品企画

# 『8月15日』



一人で暮らす祖母、  
他界した友人、  
映像製作を通じて、どのように他者と関わる事が可能なのか

### 二つの「8月15日」についてのビデオエッセイ

一年前の「8月15日」に一人で暮らす祖母の家を訪れ、ともに生活する様子を撮影してビデオエッセイ作品を製作した。この作品では、一年後の同じ「8月15日」に再び祖母の家を訪れ、撮影によって変化していく互いの様子を記録する。

「8月15日」は他界してしまった友人の命日でもあった。共通の知人と友人の墓参りに行く様子を自ら撮影し、もう関わることのできない友人と、彼の存在を通して知人との間に生まれた新たな「関わり」について考察する。

### 作品概要

作品尺：30分／ジャンル：セルフドキュメンタリー／撮影期間：2023年8月～2023年10月

### 監督プロフィール

平田雄己

日本大学芸術学部映画学科監督コースを卒業後、東京藝術大学映像研究科 映画専攻監督領域に進学。これまでの監督作品に『めがねと広い世界』（渋谷TANPEN映画祭2022-23入選）、『二十歳の夜』（2023年7月29日より池袋シネマロサにて公開）などがある。